

同意書

ピコレーザー

□ピコスポットでは、希望部位のシミにピコレーザーを照射します。

当院で、医師が肝斑でないかと判断したシミに限り照射をします。照射後 7~14 日間程度赤くなり、腫れたり、濃くなりかさぶたを形成する場合があります。レーザー照射後は反応した部位に外用剤を 1,2 週間程度塗るようにお問い合わせする場合があります。必ず指示を実践してください。術後の指示通りの診察を要します。

□フラクショナルレーザーはピコレーザーをフラクショナル状（小さな点状）に照射します。皮膚表面を傷つけずに表皮・真皮に作用し、たるみの改善効果・ニキビ跡の凸凹や毛穴の引き締めなどに効果的です。照射当日～数日赤みがでます。肝斑がある場合は該当部分を避けて照射します。術後の指示通りの診察を要します。

□ピコトーンニングは、低出力のレーザーを顔全体に照射することでトーンアップブライトニング効果があります。肝斑の改善にも効果的な治療とされていますが、当院では、肝斑のある方にも行える施術として提供いたします。術後の指示通りの診察を要します。

□レーザー照射後は日常的なスキンケアを行い、保湿を十分におこなってください。また、日焼けをしたり、肌への刺激を加えると色素沈着を生じる可能性があります。日焼け止めの使用等により紫外線対策を十分に行ったうえで、日焼けは避けて下さい。指示通りの術後ケアを行ってください。※日焼けの状態によってはレーザー照射を延期する場合がございますのでご了承下さい。肌へのマッサージやピーリング等は避けて下さい。

□治療効果や治療回数には個人差があり、治療完了後に、再発することもあります。予めご了承下さい。次回の治療の際には、指示した施術間隔を守っていただくようお願い致します。

□レーザー照射後に赤み、腫れ、毛囊炎、水泡などのやけど、炎症後色素沈着、色素脱失、硬毛化などを起こす場合があります。他院でレーザーを受けられて、上記のような症状が出たことがある方は事前にお申し出下さい。炎症後色素沈着は、場合によってはもとのシミより濃くなる場合があります、3~6ヶ月程度かけて徐々に改善してくることが多いですが、稀に残ってしまう場合もあります。扁平母斑など疾患によってはもとの状態より濃くなったり、再発することもあります。

□照射後皮膚トラブルが生じた場合、保険診療でご受診をお願い致します。

※診察は診療代がかかります。薬が処方される場合別途薬代がかかりますのでご了承下さい。

□妊娠中、授乳中の方、また 既往歴・現病歴、現在内服中のお薬があれば事前にお申し出下さい。

(妊娠中の施術は、原則は ご遠慮頂いております。授乳中の方、原則は ご遠慮頂いております。授乳中トラブルが起きた際に内服薬を使用することができないため、出力を上げられない場合がございます。)

□治療部位に金属や金の糸、シリコン、インプラントを入れている方・リウマチなどで金製剤の服用歴がある方・治療部位に感染症、傷や皮膚腫瘍がある方・光アレルギーの方・心臓疾患、出血性疾患、糖尿病の方、ケロイド体質の方・単純ヘルペス 1 型、2 型の活動病変がある方は治療が受けられない場合があります。

□残しておきたいホクロがある場合は施術前に看護師にお申し出下さい。

□加齢現象による皮膚症状は、術前術後もスキンケアは不可欠です。加齢を完全に止めることは出来ません。

□施術にあたり、ご希望に沿う結果にならない可能性は予めご理解ご同意ください。

私は上記内容を、理解し、施術に同意します。

○本人(20 歳未満の場合は法定代理人欄の両方に署名が必要です)

年 月 日 住所

氏名

○法定代理人(親権者・後見人・保護義務者)あるいは保証人

年 月 日 住所

氏名

(続柄)

医療法人社団順彩会おちあい皮膚科クリニック